

【県指定・有形文化財（建造物）】

はなおじんじゃほんでん（つけたりぐうでんさんき）

花尾神社本殿（附宮殿三基）

・のりとでん・へいでん・はいでん

・祝詞殿・幣殿・拝殿

平成14年4月23日指定



■ 所在地 鹿児島市花尾町4043

■ 所有者 宗教法人花尾神社

■ 特徴

鹿児島市花尾町にある花尾神社は、その美しさから「薩摩日光」とも呼ばれています。創建は鎌倉時代といわれていますが、建築様式から本殿とその内部の宮殿三基が18世紀前半、その他は18世紀中頃のものではないかと考えられています。

本殿は、中心である身舎(もや)を前後に分けて、前方を建具で囲んだ室とし、後方には同形の宮殿三基が須弥壇(しゅみだん)に安置されています。この形式は県内には例がなく、貴重です。また祝詞殿、幣殿、拝殿の天井には401枚の美しい草花が描かれており、色彩構図も見事です。